

# 韓国留学体験記

## 漢陽大学(交換留学)

### 文学部学部 3年 島 優樹

**留学先** 大韓民国  
漢陽大学

**期間** 2014年2月25日～  
2014年12月26日(約10ヶ月)

**動機** 小学校時のホームステイをきっかけに韓国の文化や言語に興味を持った。

**お金**

- ・費用≫ 航空券往復：約5万円
- ・生活費：約6.5万円/月(うち寮費が2.5万円)
- ・保険費：約15万円
- ・レート≫ 100円=910～970ウォン(2013年2月当時)

#### 《一週間のスケジュール》

	月	火	水	木	金	土	日
AM	語学堂	語学堂	語学堂	語学堂	語学堂	遊び、課題等	遊び、課題等
PM	韓国の経済発展と近代化	課題等	韓国の歴史と文化	韓国近代史	韓国近代史	遊び、課題等	遊び、課題等

#### 《留学前後のスケジュール》

	留学前	留学中	留学後
スケジュール	2013年4月 交換留学申請 5月 交換留学面接 6月 ハングル能力試験受験 10月 韓国語能力試験受験 2014年1月 留学準備(ビザ取得、海外保険加入等) 2月 出発		2014年12月 帰国

## ■留学体験記

こんにちは。文学部3年の島優樹と申します。私は2014年2月から12月までの10か月間、韓国の漢陽大学に留学しました。小学5年生の頃に韓国でホームステイした経験から、韓国の文化や言語に興味を持ち始め、留学経験のある先輩との出会いをきっかけに韓国留学を決意しました。

まず、学校などの学習面からお話ししたいと思います。漢陽大学では、語学堂という外国人が韓国語を学ぶための施設があり、3月上旬～5月下旬までの春学期、6月上旬～8月下旬までの夏学期、9月上旬～11月下旬までの秋学期、そして12月上旬～2月下旬までの冬学期という4つの学期がありました。私は、春学期、夏学期、秋学期を受講し、加えて9月からは現地の学生に混ざって大学の講義を受講しました。

語学堂は1級から6級まで分かれており、1クラス15人以下という少人数体制でした。毎週月曜日から金曜日の9時から12時50分まで、読み書きや聞き取り、会話などを韓国語で学びました。そのおかげで、出発前はまともに喋れなかった韓国語も、次第に伸び、帰国前の11月に受験した韓国語能力試験では、目標にしていた6級に合格することができました。特別な勉強はせず、語学堂で出された課題やテストをこなし、休日や時間があるときはカフェで勉強していました。韓国にはカフェがとても多くあり、大体のところ無料Wi-Fiがあつたり、学校内のカフェだと、アメリカンコーヒーが一杯150円だったり、リーズナブルで居心地もよく、現地の学生に混ざって頻繁に利用していました。

大学では主に、韓国の近代史についての講義を受講しました。韓国の近代史というと、1910年から1945年までのおよそ35年間、韓国は日本の植民地でした。その当時に生じた様々な問題が、今も日韓問題として根強く残っています。そのような認識から、韓国の人々は、日本や日本人に対してよく思っていないのではと考える人も多いのではないかと思います。私もそのような意識が強く、近代史の授業をとるかどうかためらっていました。しかし、実際に授業に出てみると、先生や現地の学生は嫌な顔せず受け入れてくれ、むしろ向こうから積極的に話しかけてくれました。そのような行為に後押しされ、希望していた講義をすべて受講することができ、講義を通して、韓国という国についてより深く理解することができたように思います。何より韓国、日本の歴史を、韓国の人々からの視点で学べたということは、非常に貴重な経験となりました。

また、反日感情という視点で見ると、日本のテレビ報道などでみられる激しい反日デモは一度も見ることがなかったし、日本人だからと言って罵られることもありませんでした。このように、政治では対立していても、内実は非常に心優しく、情の厚い国だと留学期間を通して実感しました。

生活面では、日本との違いに驚かされるが多々ありました。ひとつは交通費がとにかく安いことです。ソウル市内だとほとんどを地下鉄で移動できるのですが、一回の乗車で1050ウォン（およそ100円程度）、バスも同じく1050ウォン、タクシーは初乗り3000ウォン（およそ300円程度）など、日本の料金に比べてかなり安くなっています。しかも、

これらの支払いはすべて **T-money** と呼ばれる現金をチャージしたもので支払うことができ、**T-money** は地下鉄やコンビニでチャージできます。さらに、ソウルから出て地方に行くときに高速バスを利用したのですが、ソウルから1時間程度の移動で片道 **6800** ウォン（およそ **680** 円程度）でした。このように移動費が抑えられるので、留学中にさまざまな場所に行くこともお勧めです。

また、日本との違いとして実感したのが、宗教の勧誘です。学校内外に問わず、地下鉄の中まで声をかけられたことには非常に驚きました。人それぞれ考えは違うと思いますが、宗教というものは人に良い影響も悪い影響も与えるものだと思います。海外での一人暮らしは、危険を付きまとうものであることもしっかり意識して、自分自身で気を付けなければならないと思います。

10か月の留学を通して、学問はもちろん素敵な出会いにも恵まれ、非常に充実した留学生生活を過ごすことができました。しかし、海外で生活するという事は楽しいことばかりではなく、辛く寂しいときも数え切れないほどありました。それらすべてを含めて、人生における貴重な経験となったように思います。このような機会を与えてくれた両親、留学を後押しして下さった先輩や先生方にもう一度感謝するとともに、この留学体験記が誰かの留学の後押しになることを願って、体験記を終えたいと思います。何か気になることがあればいつでもご連絡ください。

## ■アンケート

### ✓ おすすめ web サイト

・韓国旅行『コネスト』：韓国の情報が詰まった **web** サイト。その日のレートから韓国全土の観光スポットの紹介、韓国の最新ニュースまで、様々な情報が日本語で掲載されています。

・**Bay Koreans** (ベイコリアンズ)：ドラマを始めとする韓国で放送されている番組、または放映された映画などを無料で閲覧できるサイト。すべて日本語字幕なしなので、聞き取りの勉強などにおすすめです。

### ✓ おすすめスポット

・**JK モバイル**：新村駅から出てすぐにある携帯電話ショップ。日本留学経験のあるオーナーが運営しているため、複雑な契約手続き等も日本語で丁寧に説明してもらえます。一般の携帯電話のほか、プリペイド式として使える中古の携帯電話なども扱っており、私の場合は携帯ではなく **egg** という **Wi-Fi** ルーターを契約しました。

・大使館前両替：明洞、中国大使館のすぐそばにある公認両替所。空港や銀行などで両替するよりも高レートで両替できます。上記で紹介したコネストにも掲載されています。

**✓ 必要だと思われるもの**

カイロ（冬がかなり寒い）、ごみ袋・エコバック（日本と同じようにスーパーなどでは袋が有料なため）、ファブリーズ（韓国で買うと 600 円ぐらいする）、トイレトペーパー（韓国のトイレは詰まりやすいため、トイレトペーパーは基本流さない。それが嫌な場合は日本のものをもっていくことをお勧めする）、ピンチハンガー（現地で買ったが見つからず、日本から送ってもらった）、ハングルのキーボードシール（自分のパソコンを持っていく場合、前もってシールを準備しておく、レポートなどを書く際にとっても便利。ネットで買える）、ポケットティッシュ（韓国のは高く大きいため、持ち運びに不便）、ルーズリーフ（韓国ではあまり販売されていないので、普段使う人は持参するのが良いと思われる）

**✓ おすすめのごはん**

・はちみつマッコリ：はちみつが入ったマッコリ。普通のマッコリよりも飲みやすく、女性におすすめです。

